



# 成田中だより

令和6年1月9日  
成田市立成田中学校  
TEL 0476-22-0304  
生徒数 504名  
文責 濱谷 昌人

《令和5年度学校教育目標》『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

2024年「辰(たつ)年」スタート！ ～さあ、「昇り竜」の勢いで～



◎Mコーチの熱血指導で新年初練習のバレー部！

◎新年初練習に卒業生も加わり活気溢れるサッカー部！

新年あけましておめでとうございます。

さあ、いよいよ2024年・令和6年・辰(たつ)年が始まりました。今年の干支にちなんで、昇り龍のような勢いのある1年間にしていきたいですね。今年も、どうぞ宜しくお願いします。

今年の冬休みは、皆さんにとってどんな冬休みだったでしょうか。17日間の冬休みの中で、皆さんが、自分自身と向き合う時間や家族との<sup>だんらん</sup>団欒の時間を持っていたなら何よりです。そして、それぞれが、新たな決意や希望を胸に、今日、登校できていると良いなと思っています。ただ、今日は久しぶりの学校で、朝、気が重かったという人もいたかもしれませんね。3年生の皆さんにとっては、受験に向けての最後のラストスパート期間と思って頑張っていた冬休みが、とうとう終わってしまったという気持ちもあるかもしれません。(来週からは、県内私立高校の入試開始ですね)だから、今日元気に登校してきた皆さん！何とか頑張って家を出てきた皆さん！まずは、3学期の初日、本当によく来てくれましたよ。朝、外で久しぶりに登校してくる皆さんと「おはよう！」とあいさつを交わしながら、私はきっと、とても嬉しい気持ちになっていることと思います。そして、廊下を歩きながら各教室を覗き、成中生の元気そうな顔を見渡してホッとすることと勝手に思っています。今日下校する時には、一人ひとりが「ああ～、やっぱり教室はいいな！成田中は楽しいな！」という気持ちで家に向かえるような1日になっているなら何よりです。

誰もが安心して通える学校を実現していくために大切にしていきたいことは、お互いを思いやることです。そして、お互いを認め合うことです。また、もし、教室に空席があったなら「どうしたんだろう？」と心配する心を誰もが持っていたいです。一人ひとりが、そんなことを心掛けて、3学期のスタートを切ってください。きっと、成中生一人ひとりにとって、心があったかくなるような素敵な毎日になっていくことでしょう。

**「明日も行きたいと思える学校」**……誰もがそう思える学校にしていくことを、今年も本気で目指していきます！



能登半島地震・・・ ～各家庭で、今一度緊急時の確認を！～



今年の元旦も、私は初日の出が昇ってくる前に家を出て、自分自身の新年の恒例行事となっている初走りを楽しんでいました。そして、途中足を止めて <sup>だいたい</sup> 橙色の綺麗な初日の出に向かい手を合わせながら、成田中学校にとって、最高の1年になることを願いました。今年も、穏やかな気持ちで気持ちよく1年のスタートを切ることができたと思っていたのですが、夕方に鳴り響いた緊急地震警報のアラーム音と共に、その穏やかな気持ちが一変しました。私は、ちょうど初詣を終えて歩きながら家に向かっている途中だったのですが、帰宅して急いでテレビをつけると、能登半島を中心とする最大震度7の大地震が発生したとのこと。北陸地方には、大津波警報が出されており、どの局のアナウ

ンサーも語気を強めて「今すぐ避難！テレビを見ていないで逃げてください！東日本大震災を思い出してください！」などと必死に呼びかけています。各局の画面には、「津波危険！」「逃げろ！」などの巨大な赤テロップが出ており、緊急事態の緊張感が伝わってきました。私は、すぐにこの北陸地方に住む大学時代の陸上競技部の仲間達の顔が思い浮かびました。グループLINEを通して「大変な状況だけど大丈夫」と連絡してきてくれる仲間もいましたが、今も心配で仕方ありません。大火事やビルや家屋の崩壊の悲惨な映像も次から次へ <sup>いつか</sup> と流れてきて、被害の凄まじさに言葉を失うばかりでした。改めて地震の恐ろしさを痛感すると共に、一家団欒 <sup>いっかだんらん</sup> で穏やかに過ごせるはずだった元旦に発生したことで、自然災害というものは、時間や場所を選んでくれないという当たり前のことを、再び肝に銘ずる新年のスタートとなっています。被災により命を失った方々が現時点で168名、安否不明者300名以上、そして、避難をされている方々が3万人以上で、断水や停電、水や食料不足で苦しんでいる地域もたくさんあるとのこと。雪も降り厳しい寒さとの戦いも続いていることと思います。今回の地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、安否不明の方々が一刻も早く見つかかり、この地域の皆さんの日常が1日も早く取り戻されることを皆さんと一緒に願いたいと思います。

そして、同じ地震国に住む我々千葉県人も、改めて、いざという時の心構えを持ち、備えだけはしっかりとしておくことが大切です。どうか今一度、それぞれのご家庭で、いざという時の備えはあるかどうか、いざという時にはどこに集合するのかなどを話し合い、確認しておいてください。

## 2学期終業式から ～代表生徒の意見発表～



2学期終業式は、久しぶりに体育館を会場に全校生徒が一堂に会して実施することができました。オンラインでの式が続いていたので、体育館で皆さんの表情を見ながら話をできたことは、私としては大変嬉しかったです。そして、全校生徒で校歌を歌うことができたことも感慨深かったです。また、肌寒い体育館での式ではありましたが、1年生から3年生までのどの学年も緊張感を持って整然と式に臨んでいました。壇上から皆さんの様子を見ていて気持ちよかったです。整然とすべきところで当たり前整然とできる！どんな状況でも、成中生として当たり前のことを当たり前にする！今の成田中学校が、

◎F先生の「生徒指導講話」を真剣に聴く成中生！ 安心して過ごせる場になっているのは、みんなでこういう場を大切にしているからだと思います。この3学期も、まずは、当たり前のことを当たり前に行うことによって、成田中学校として、気持ちよくさわやかにスタートを切りましょう。

さて、2学期終業式の中では、各学年を代表して K.I.さん(1年)、U.H.さん(2年)、そして、T.K.さん(3年)の3人が『2学期を振り返って』をテーマに意見発表をしました。壇上から全校生徒を前にしての発表でしたが、3人とも落ち着いて自分自身の想いをしっかりと伝えていましたね。素晴らしい発表でした。



### K.I.さん(1年)の「2学期を振り返って」

2学期に入り、私たちにとって大きな行事がありました。それは合唱コンクールです。1年生にとって、初めての経験なので、最初は本番を想像することもできませんでした。中間発表会の日、本番でもないのに緊張し、練習していたはずなのに、自分が思った以上に声が出なかったのを覚えています。きっと他のクラスの人、そうだったと思います。そして、本番の日。会場に入ってから、大勢の人の前で歌うことを考えると更に緊張し、上手く歌えるか不安な気持ちでいっぱいでした。いよいよ自分たちの番。舞台にあがる時には緊張のピークでしたが、いざ曲が流れ歌い始めると、それまでの緊張がウソのように、しっかりと歌うことができました。みんなで歌うことの気持ち良さや楽しさを感じ、僕達なりに練習の成果を発揮できたかなと思っています。1学年としても、どのクラスも中間発表の時より、元気に明るく歌っていたように思いました。同時に、はじめて近い距離で2年生や3年生の合唱を聴いて、声量、表現の力強さや美しさが僕たちとは格段に違ったことに驚いたのと、あんな風になれるのかと少し心配にもなりました。合唱コンクールが終わった今、先輩達のような合唱を目指して、しっかり練習しているつもりです。



2学期が終わり、あと数ヶ月で僕たちも先輩になります。3学期は1年間のまとめになります。合唱だけ

でなく、学校生活の様々な場面で今の内にしっかりと先輩達の姿を見ておきたいです。そして、合唱の時に大事だと感じた、毎日の練習や3年間の積み重ねを学習や生活でもできるように、意識していきたいです。

## U.H.さん(2年)の「2学期を振り返って」

2学年では2学期およそ80日間、授業態度を改めること、委員会や係の仕事に責任をもって行うことを目標に過ごしてきました。

まず成果としては、

- 授業態度について月ごとの目標や毎日の目標に取り入れ、振り返ったことで授業中の発表数や反応が増えたり、忘れ物が減ったこと
- 委員会がチェックをし、呼びかけを行うことで身の回りの整頓ができたこと
- 2学年独自の活動であるこぼしチェックを行ったことによって給食前後の廊下が綺麗になったこと
- 周りの状況が気付けるようになったことで、休んでいる人のものや忘れられていた仕事をカバーできるようになったこと

が挙げられました。

課題としては、

- 2分前着席や5分後着席など一人一人の時間の意識が低いこと
- 係や委員会活動に取り組むにあたって、仕事を忘れるなど人によって意識の差があること
- 授業中の話を聞く態度、発表ではない場面でも意見交換を活発に行うこと
- 相手の気持ちを考えて発言、行動すること

が挙げられました。

仕事や時間に対する意識は、周りで声を掛け合ったり、気付いた人が呼びかけを行うなど、周りも行動を変えることによって改善されると思います。授業態度は、改善された面もあることから、同様に具体的に目標に取り入れながら実行し続けていくことによって、より良い授業になるのではないのでしょうか。相手の気持ちを考えて発言、行動することについては、自分の言動に責任を持つことで改善されると思います。言葉の重みを理解し、軽はずみな行動をしない。相手を自分の立場に置き換えて接することで、思いやりのある学年にしていきます。

3学期は3年生が委員会に参加しなくなり、本格的に成田中を引っ張っていく立場となります。2学期の課題として挙げられたことを改善するとともに、最高学年になるのだという自覚と責任を持って生活することが重要になっていきます。冬休みが明けてから今一度気持ちを引き締めて、2学期でできなかったことを3学期でできるようにしましょう。また、2年生が中心となってまずは予餞会を成功させ、3年生が安心して卒業できるようにしましょう。



皆さんは、成田中の仲間達の『意見発表』を聴いて、何を感じ思ったことでしょうか。参考になることがたくさんあったのではないのでしょうか？そして、今一度、自分自身の『2学期の反省』は何だったのか、『3学期の課題や目標』は何なのか・・・確認してみるといいと思います。意見発表をしてくれた3人の皆さん、素晴らしい発表をありがとうございました。拍手です。

(3年T.K.さんの発表内容は、次号で掲載)

### ☆就学援助制度についてのお知らせ☆ ～学用品や給食費などの援助～

成田市では、学用品費や給食費などの支払いが困難な児童生徒の保護者を対象に、援助を行っています。援助を希望するご家庭は、学校にお問い合わせください。(☎22-0304 窓口：K教頭)

※制度の詳細については学校または成田市教育委員会学務課(☎20-1581)へ連絡してください。